

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「リビング・アース戦略ファンド（年4回決算コース）」は、2019年6月17日に第12期決算を行いましたので、第11期から第12期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは外国投資証券「セキュリスII ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）」を通じて、主としてCATボンドに投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。（CATとはCatastrophe＝カタストロフィ／大災害の略です。）また、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

**リビング・アース戦略ファンド
（年4回決算コース）**

商品分類（追加型投信／海外／債券）

第6作成期

第11期（決算日 2019年3月15日）

第12期（決算日 2019年6月17日）

作成対象期間：2018年12月18日～2019年6月17日

第12期末（2019年6月17日）	
基準価額	8,903円
純資産総額	822百万円
第11期～第12期	
騰落率	△2.4%
分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

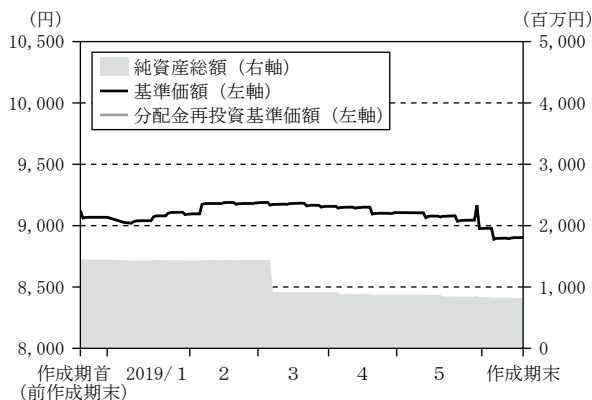
投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第11期首：9,121円
 第12期末：8,903円 (既払分配金0円)
 騰落率：△2.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年12月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
 (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

主に高位に組入れている外国籍ファンド「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド(クラスB JPY)」が下落したことから、基準価額(分配金再投資ベース)についても下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

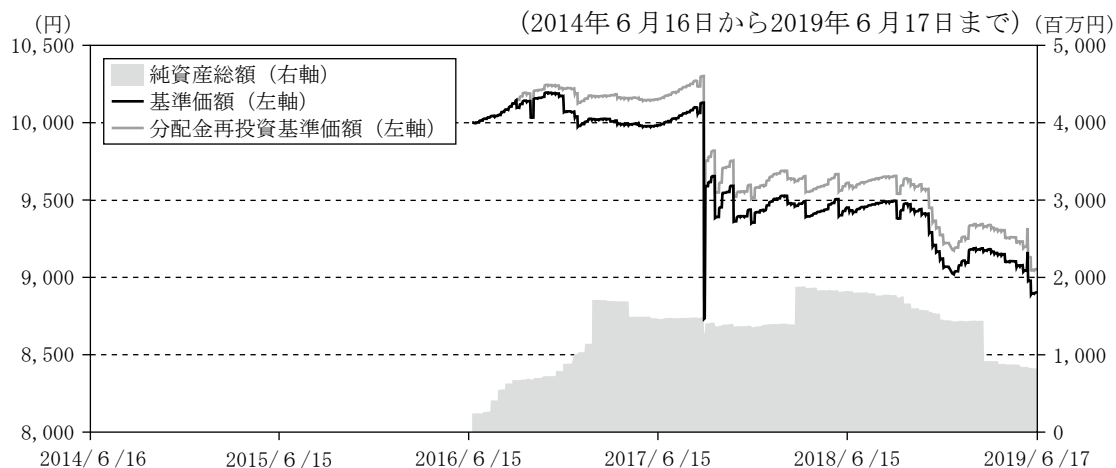
組入ファンド	騰落率
セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド(クラスB JPY)	△1.8%
マネーアカウントマザーファンド	△0.0

1万口当たりの費用明細

項目	第11期～第12期 2018/12/18～2019/6/17		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	9,098円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	60円	0.662%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(29)	(0.323)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(29)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.007	(b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	61	0.669	

- (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
 (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。
 (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2016年6月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年6月22日 設定日	2017年6月15日 決算日	2018年6月15日 決算日	2019年6月17日 決算日
基準価額(分配前) (円)	10,000	9,983	9,451	8,903
期間分配金合計(税込み) (円)	—	170	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	1.5	△ 5.3	△ 5.8
純資産総額 (百万円)	243	1,462	1,823	822

- (注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

投資環境

■ 災害動向・キャットボンド市況

今作成期、北米では、2019年2月に米国東部から中西部にかけて猛烈な寒波に見舞われたほか、暴風雨がテネシー州、ミシシッピ州、アラバマ州に被害をもたらしました。3月も冬の暴風「ウルマー」が米中西部で発生し、暴風や猛吹雪による被害が発生、4月から5月には米中央部、南部、東部の広い範囲で、季節特有の竜巻、雹（ひょう）、突風や激しい雷雨などによる被害が発生しました。いくつかの自然災害は累積損失トリガー型C A Tボンドの累積損失に影響を及ぼしています。他地域では、2月初めにオーストラリアのクイーンズランド州で洪水被害、3月にオーストラリア北部に大型サイクロン「トレバー」が上陸、モザンビークでサイクロン「イダイ」が発生、5月にはペルー北部のラグナスで大規模な地震が発生、この地震により同国地震リスクを参照するC A Tボンドの元本の一部毀損が見込まれています。自然災害発生による一部C A Tボンド銘柄の評価額下落に加えて、2018年に発生した山火事「キャンプ・ファイア」、ハリケーン「フローレンス」や「マイケル」等の損失額公表を巡り評価額が上下動しました。またセカンダリー市場では、全般的に売却ニーズが購入ニーズを上回るなか、過去の自然災害により損失が発生した累積損失トリガー型等の一部銘柄が比較的安い価格で取引が成立した影響なども、C A Tボンド評価額のマイナス要因となりました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.25\%$ から作成期末は $\Delta 0.14\%$ となりました。需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド（クラスB JPY）」の組入比率を高位に保ちました。また、「マネーアカウントマザーファンド」にも投資を行いました。

■ セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド（クラスB JPY）

主に米国の災害に関するC A Tボンドに投資を行いました。

今作成期は、相対的に低いクーポンの保有銘柄数件を売却し、2月以降に発行された様々な災害リスクを参照する新発債についてリスクや発行条件を分析し、良好な期待リターンが見込まれる、ハリケーン等の暴風によって生じた洪水リスクを参照する銘柄やトリガーが累積損失型と発生型の混合型となっている銘柄等の数件に投資しました。

■ マネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、第11期、第12期ともに見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第11期	第12期
	2018年12月18日 ～2019年3月15日	2019年3月16日 ～2019年6月17日
当期分配金	0	0
（対基準価額比率）	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,050	1,214

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

■ セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）

リスク・リターンを考慮し、且つポートフォリオに分散効果を与えるCATボンドの銘柄を厳選して投資を行います。

■ マネーアカウントマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

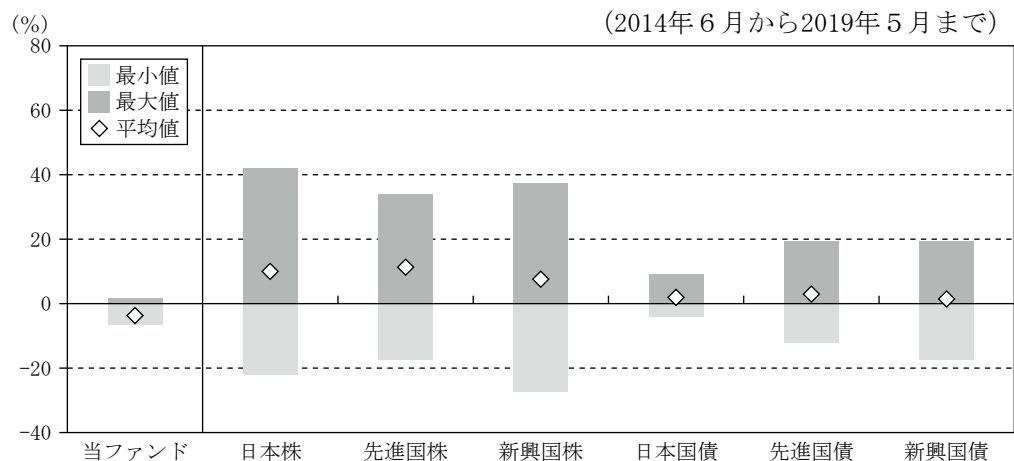
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2016年6月22日から2026年6月15日まで	
運 用 方 針	安定した配当収入の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主 要 運 用 対 象	円建ての外国投資証券である「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）」および国内の証券投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）	主としてCATボンドに投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。
	マネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（3月、6月、9月、12月の各15日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	△3.7	10.0	11.4	7.6	2.0	3.0	1.4
最大値	1.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△6.7	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2014年6月から2019年5月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 当ファンドは2016年6月22日に設定されたため、2017年6月以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

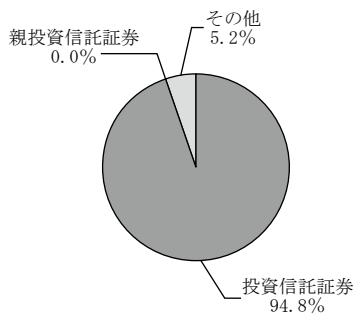
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

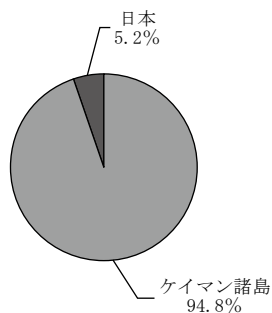
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	第12期末
	2019年6月17日
	比率
セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド（クラスB JPY）	94.8%
マネーアカウントマザーファンド	0.0
その他	5.2

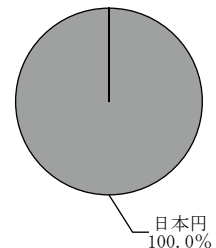
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

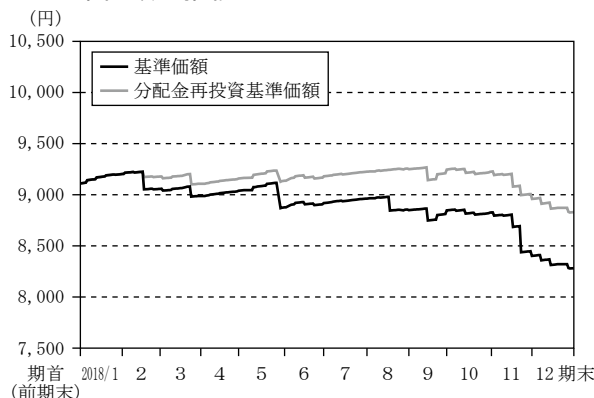
項目	第11期末	第12期末
	2019年3月15日	2019年6月17日
純資産総額	919,217,380円	822,633,119円
受益権総口数	1,001,141,399口	923,984,046口
1万口当たり基準価額	9,182円	8,903円

(注) 当作成期間（第11期～第12期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は670,384,846円です。

組入上位ファンドの概要

セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド (クラスB JPY) (2018年1月1日から2018年12月31日まで)

■ 基準価額の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2017年12月31日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド (クラスB JPY)」は「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド」を構成するクラスの一つです。

以下は、セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンドの状況です。

■ 上位10銘柄

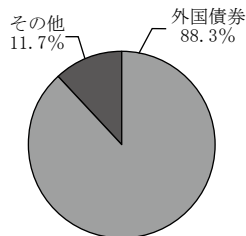
(組入銘柄数：65銘柄)

銘柄名	国	比率
SANDRE FLOAT 2022-04-07	バミューダ諸島	6.3%
CAELUS 144A FLOAT 2024-03-06	ケイマン諸島	4.9
TRAMLN 144A FLOAT 2019-01-04	バミューダ諸島	4.5
ATLAS FLOAT 2025-06-09	英国	3.7
KILREL 144A FLOAT 2019-12-06	バミューダ諸島	3.2
EVERGL 144A 1.0000% 2020-05-08	バミューダ諸島	3.0
RESID FLOAT 2021-12-06	ケイマン諸島	2.8
PNTHRA 2018 144A FLOAT 2020-03-09	バミューダ諸島	2.7
URSARE E FLOAT 2020-06-27	バミューダ諸島	2.6
KILREL ** FLOAT 2022-04-21	バミューダ諸島	2.6

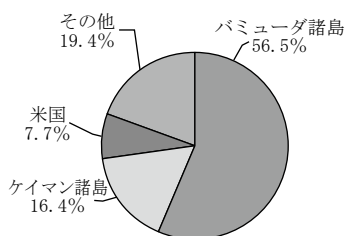
■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

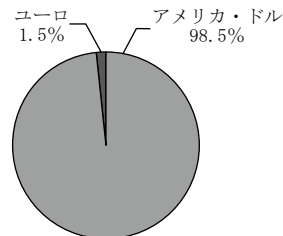
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



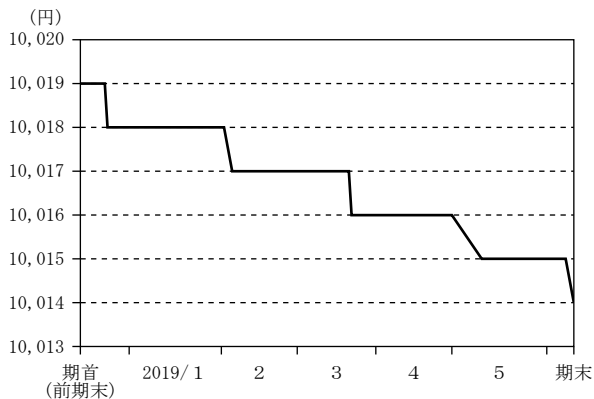
(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。

(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 組入銘柄および各配分の比率はシトコ・ファンド・アドミニストレーション (ケイマン・アイランズ) リミテッドより入手したデータをもとに作成しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

■ 基準価額の推移



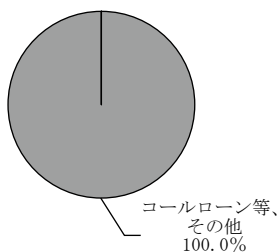
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

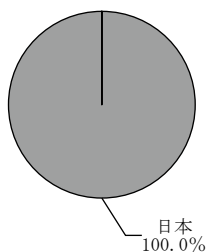
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2018/12/11~2019/6/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,016円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.003% (0.003)
合計	0	0.003

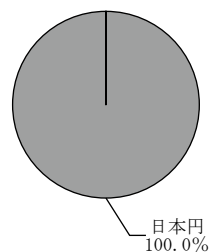
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPMorgan社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPMorgan社に帰属します。

T&D

T&D保険グループ